

群馬大学大学院理工学府物質環境部門 教員公募

1. 職 名 准教授または講師
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 物質・環境部門
4. 業務内容 研 究
 - ・ 構造工学分野を学術背景とした研究分野として下記のいずれかに該当するもの
耐震工学、耐火工学、構造工学、鉄筋コンクリート複合構造、社会資本の維持管理とそれに関連する AI 分野の研究
教 育
 - ・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
 - ・ 担当授業科目
(学部) [専門教育]
構造力学Ⅰ・Ⅱ、構造力学演習、社会基盤工学実験ⅠⅡ、プログラミング基礎、材料力学Ⅰ、物質環境類基礎実験、物理学基礎Ⅰ、課題発見セミナー、課題解決セミナーなど 等
[教養教育]
担当科目は着任時のカリキュラムに基づき決定
(大学院) 構造解析学特論、理工学特別演習、理工学特別実験 等
管理運営・社会貢献
 - ・ 理工学府・研究科の管理運営に関する業務
 - ・ 理工学府、物質・環境部門が進める（社会貢献活動）への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 9 年 4 月 1 日 (以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：社会基盤
小分類：構造工学、地震工学

9. 任 期 5 年

任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者

(1) 博士の学位を有する者又はこれに準じる者

(2) 下記のいずれかにおける優れた研究業績を有し、熱意と意欲を持って学生の教育と研究指導ができる方

構造工学、耐震工学、耐火工学、鉄筋コンクリート複合構造、社会資本の維持管理とそれに関連する AI 分野の研究

(3) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方

11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり

本学教職員就業規則及び 2 号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定

ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり

教職員就業規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf

2 号年俸制適用教員給与規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf

12. 就業時間 8 : 30 ~ 17 : 15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用

(1 日 7 時間 45 分働いたものとみなす)

13. 試用期間 6 か月

14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12 月 29 日 ~ 1 月 3 日)

年次有給休暇、特別休暇等

15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険

16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)

17. 応募締切 令和 8 年 9 月 30 日消印有効

18. 提出書類

(1) 教員個人調書(本学所定様式)

- (2) 教育研究業績書（本学所定様式）
- (3) 科学研究費補助金等の受給状況（本学所定様式）
- (4) 主要論文5編程度の別刷りまたはコピー
- (5) これまでの研究概要（2,000字程度）
- (6) 教育、研究についての抱負（2,000字程度）
- (7) 意見を聞くことのできる方 2名の連絡先
（所属、電話番号、メールアドレス）

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町 1-5-1
群馬大学 大学院理工学府 物質環境類 土木環境プログラム長 若井明彦
簡易書留にて「教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。
20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接（※必要に応じてプレゼンテーションや模擬授業を記載する）を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担
21. 問い合わせ先 群馬大学 大学院理工学府 物質・環境部門 若井明彦
電話:0277-30-1600
e-mail:wakai@gunma-u.ac.jp
22. そ の 他
- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
 - (2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
（リンク先：<https://diversity.gunma-u.ac.jp/support/research/>）
 - (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。